

不動技研図書館 愛称看板を除幕

長崎市から命名権取得

機械プラント設計やシステム開発などを手がける不動技研グループ(濱本浩邦代表)は7月30日、長崎市から命名権を取得した興善町の市立図書館で、「不動技研ながさき市立図書館」の愛称を記した新しい看板を除幕した。

グループ企業「不動技研ホールディングス」が市と契約し、今年5月1日から5年間の命名権を得た。総額1155万円を市に支払う。市は売却益を施設運営や魅力向上に充てる。

この日の除幕式で、濱本代表は「社員一同にとつて光栄で、誇りに思う。地域の大切な図書館の継続的運営や設備向上に向け、新しい図書館の歴史を応援していきたい」とあいさつ。西本徳明教育長は「貴重な財源として施設の充実に役立て、愛称の周知に努める」と述べた。(三代直矢)



愛称が記された看板を除幕する

関係者

＝長崎市、不動技研ながさき市立図書館